

ご質問・ご相談は

まずは
気軽に
お電話ください



一般財団法人
河田病院
KAWADA HOSPITAL
地域医療連携室

TEL: 086-252-1231 (代)

(平日9時～16時)

FAX: 086-252-7111

SNSも更新しています。

是非、いいね & フォローしてくださいね!

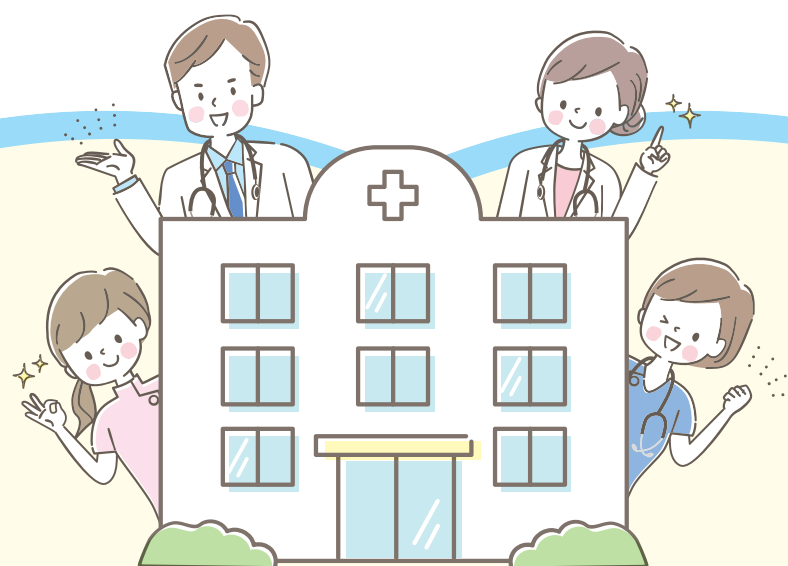
河田病院ホームページ



Instagram



X



✨ その人らしく ✨ より長く
住み慣れた地域・施設で暮らすために

認知症入院治療

— 認知症・BPSDでお困りの方、介護者の方に —



認知症 BPSD 介護負担 短期入院



／ 認知症といえば、河田病院。 ／

このような**症状(BPSD)**がみられた場合は、
当院で**入院治療**をすることができます。

BPSDとは？

BPSDとは、認知症に伴う行動・心理症状を言います。
脳の萎縮や血流低下が原因で、もの忘れや今までできていたことが
できなくなるという認知機能の低下が起こります。
その不安やストレスから様々なBPSD(行動・心理症状)が現れます。
BPSDは、適切なケアによって、症状を緩和することが可能です。

専門的治療で緩和できるBPSDの主な症状

妄想

- ・物盗られ妄想(あの人が財布を盗んだ…)
- ・被害妄想(いじめられている。悪口を言われている…)
- ・嫉妬妄想(夫・妻が浮気している…)

睡眠障害

- ・昼夜逆転
- ・なかなか寝付けられない
- ・夜間2回以上目が覚め、その後、眠れない

意欲・食欲の低下

- ・何もやる気が起きない
- ・人と関わらない
- ・食欲がない、または、甘い物や同じ物ばかり食べている
- ・無関心

不安症状

- ・何でも確認する
- ・怖がる
- ・1人で過ごすことができない
- ・電話ばかりする

興奮

- ・急に怒る
- ・人や物をたたく
- ・物を投げたり、壊す
- ・大声で叫ぶ

気分の変わりやすさ

- ・怒った直後に、笑ったり、泣いたりコロコロ変わる

多動

- ・そわそわして落ち着かない
- ・おしゃべりが止まらない
- ・何でも立ち上がり座ってられない
- ・部屋の中をウロウロ歩き回る

このような症状が続くことでご本人はつらい思いをし、ケアをする介護者の負担も大きくなり、
住み慣れた地域や施設での生活を続けていくことが難しくなります。
ご本人・ご家族・介護者にとって、BPSDの理解と早めの対応が大切です。

河田病院の専門的な認知症治療とは？

認知症になっても住み慣れた地域や施設での生活を続けていくために、
BPSDを緩和し、ご本人がもつ能力を最大限に発揮できるように
治療をしています。生活機能の維持を図るためにも
早めの入院治療をおすすめしております。

その人らしく
を大切にしています。

3ステップの短期入院治療

ステップ 1

入院前の聞き取り

- ・ご本人の生活歴
- ・日常生活状況
- ・夜間の睡眠状態
- ・ご自宅や施設での
お困りごと
など

ステップ 2

薬物療法 非薬物療法* の実施

- * 生活機能回復訓練
認知症患者リハビリテーション
作業療法

ステップ 3

元の生活に戻るために
**ご家族や
施設との連携や
情報の共有**

早期に元の生活の場に戻ることを目指して

多職種のチームで入院中の治療を行っています。

- ・医師・看護師・介護福祉士・作業療法士・精神保健福祉士の多職種による脳とこころの治療・リハビリテーション
- ・お一人おひとりに合わせた個別対応
- ・心身面の観察(からだの不調はこころにも影響します。CT・心電図・レントゲン・脳波などの検査を実施)
- ・定期的なカンファレンス(入院中もご家族と施設のご意向を定期的にお聴きします)

介護者の方へ対応方法の提案も行わせていただきます。

ご本人がその人らしく生活できることを大切にしています。

お電話
お待ちしております！

まずは、お気軽にご相談を

TEL: 086-252-1231(代)

「地域医療連携室へ」とお伝えください。(平日9時から16時まで)